

## 生活支援技術

問題 41 Jさん(75歳, 男性, 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa)は, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用しながら妻と自宅で暮らしていた。妻が事故で亡くなったため, 近くに住む息子夫婦の家に引っ越すことになった。息子夫婦はダイニングキッチンの隣をJさんの部屋として用意し, 訪問介護員(ホームヘルパー)にどのように整えるべきかを尋ねた。

息子夫婦に対する助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 部屋の出入口の戸を取り外す。
- 2 ポータブルトイレを設置する。
- 3 思い出の小物や写真を飾る。
- 4 ベッドを柵せきで囲む。
- 5 部屋の様子がわかるように, カメラを設置する。

問題 42 介護保険の給付対象となる住宅改修として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 住宅用火災警報器を設置する。
- 2 緊急通報装置を設置する。
- 3 ガスコンロを電磁調理器に取り替える。
- 4 風呂場に取り外し可能な手すりを設置する。
- 5 和式便器を洋式便器に取り替える。

問題 43 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)の住環境として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 住宅地から離れた場所に建てる。
- 2 定員は10名以上15名以下とする。
- 3 居室は多床室とする。
- 4 カーテンは防災物品とする。
- 5 統一した家具を事業者側が用意する。

問題 44 義歯の取り扱いに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事のとき以外はつけない。
- 2 磨くときは、歯磨き粉を使わない。
- 3 熱湯で洗浄する。
- 4 総義歯は、上あごから外す。
- 5 外した義歯は、よく乾燥させておく。

問題 45 移動補助具に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ロフストランドクラッチ(Lofstrand crutch)は、握力の弱い人に適している。
- 2 スクーター型電動三輪車は、頸髄損傷(けいずいそんしょう)(cervical cord injury)の人に適している。
- 3 ステッキ型杖(がたつえ)は、失調性歩行のある人に適している。
- 4 四輪歩行車は、杖歩行(つえほこう)の安定した人に適している。
- 5 交互型四脚歩行器は、片麻痺(かたまひ)のある人に適している。

問題 46 視力障害のある人の移動の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護者は、利用者の手首を握って誘導する。
- 2 バスに乗る場合、介護者は先に乗る。
- 3 エスカレーターから降りる場合、介護者は後から降りる。
- 4 白杖はくじょうを使用している場合、介護者は後ろに立ち、声かけによって誘導する。
- 5 駅のホームで電車を待つ場合、介護者は利用者を点字ブロックの上に誘導する。

問題 47 Kさん(81歳、女性)は、左片麻痺ひだりかたまひがあるが、自分で食べようとする意欲が強く、一口大の刻み食を座位で摂取している。食事を始めて10分後にKさんのようすを見ると、姿勢が左に傾いていた。食事用エプロンには多くの食べこぼしがあったが、食器の周辺には食べこぼしはなかった。

介護職の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事を全介助にする。
- 2 極刻みごくきぎに変更する。
- 3 すくいやすい皿に変更する。
- 4 姿勢保持のためのクッションを入れる。
- 5 臥位がいで食事をするように変更する。

問題 48 ベッド上での洗髪<sup>せんぱつ</sup>の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 洗髪前は、ブラッシングを控える。
- 2 シャンプー剤を直接頭皮につける。
- 3 爪<sup>つめ</sup>を立てマッサージしながら洗う。
- 4 すすぎ湯を流す前にシャンプーの泡を取り除く。
- 5 ドライヤーは、頭皮から5 cm 離して使用する。

問題 49 全身清拭<sup>ぜんしんせいしき</sup>の介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 背部<sup>よ</sup>を拭くときは、健側を下にする。
- 2 40℃のお湯を準備する。
- 3 目尻<sup>めじり</sup>から目頭<sup>めづ</sup>に向かって拭く。
- 4 上腕<sup>うで</sup>は、手関節<sup>て</sup>を下から支えて拭く。
- 5 皮膚<sup>かわ</sup>についた水分は、最後にまとめて拭きとる。

問題 50 Lさん(80歳、~~男性~~)は、高血圧症(hypertension)と心疾患(heart disease)の持病がある。週2回、通所介護(デイサービス)での入浴を楽しみにしている。

入浴の介護に関する注意点として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入浴前後の水分補給は控える。
- 2 浴槽内の水位は、心臓より下にする。
- 3 浴室より脱衣室の室温を低くする。
- 4 浴槽に入っている時間は、20分程度とする。
- 5 43℃以上の湯温に設定する。

問題 51 耳、鼻の清潔保持の介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 耳垢(耳あか)<sup>じこう</sup>が取りにくいときはピンセットを使う。
- 2 乾燥した耳垢(耳あか)<sup>じこう</sup>は綿棒で湿らせてから取る。
- 3 綿棒は内耳まで入れる。
- 4 鼻は左右同時にかむ。
- 5 鼻毛は毛抜きで抜く。

問題 52 <sup>ろうじんせいそうようしょう</sup> 老人性掻痒症 (pruritus senilis) がある人の入浴の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 硫黄を含む入浴剤を使う。
- 2 弱酸性の石鹸<sup>せっけん</sup>でからだを洗う。
- 3 かゆみのある部位は、ブラシでこする。
- 4 皮膚を乾燥させてから、保湿剤を塗布する。
- 5 着替えの下着は、厚めの羊毛素材にする。

問題 53 寝たきりの高齢者におむつを装着するときの基本として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 女性が使用する布おむつは、前側を厚くする。
- 2 おむつカバーの上端は、ウエストより上に合わせる。
- 3 鼠径部<sup>そけいぶ</sup>は、おむつカバーから布おむつを少し出す。
- 4 腹部とおむつとの間には、指2本程度の余裕があるようにする。
- 5 紙おむつの腹部のテープは、真横に留める。

問題 54 <sup>ぜんりつせんのだいしょう</sup> 前立腺肥大症 (prostatic hypertrophy) で留置カテーテルを使用している軽度の認知症 (dementia) の人への対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 蓄尿袋を腰より高い位置に固定する。
- 2 尿量が減少するように、日中の水分摂取量を控えるよう促す。
- 3 尿を観察するために、蓄尿袋のカバーは外したままにする。
- 4 留置カテーテルを抜く恐れがあるので、介護職の判断でミトン型の手袋を着ける。
- 5 陰茎を上向きにして、腹部に留置カテーテルを固定する。

問題 55 便秘を訴える高齢者の排泄の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 腹圧をかけやすい姿勢で便座に座るように促す。
- 2 食物繊維の少ない食品を勧める。
- 3 腹部全体を冷たいタオルで冷やす。
- 4 1日の食事の量を減らすように促す。
- 5 下行結腸、横行結腸、上行結腸の順にマッサージする。

問題 56 塩素系漂白剤を使って漂白する素材として、適しているものを1つ選びなさい。

- 1 アセテート(acetate)
- 2 ナイロン(nylon)
- 3 羊毛
- 4 絹
- 5 綿

問題 57 ビタミンD(vitamin D)が多く含まれる食品として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 干ししいたけ
- 2 にんじん
- 3 りんご
- 4 牛肉
- 5 ひじき

問題 58 施設で、介護職が深夜に巡回するときの注意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の顔に懐中電灯の光をあてて観察する。
- 2 足音で、巡回を知らせる。
- 3 異変の有無を確認する。
- 4 職員同士の会話は、昼間と同じ大きさの声で行う。
- 5 ドアを開ける際は、ノックをする。

問題 59 Mさん(98歳、女性)は、介護老人福祉施設に入所している。主治医からは、「終末期にある」と言われている。現在、食事量が少なくなり、衰弱している。面会に来る家族には、以前から「私は、悪くなったらここで最期を迎えたい」と話している。

終末期の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Mさんの入院を家族に勧める。
- 2 看取りに関する家族の意向は、入所時に確認すれば十分である。
- 3 Mさんの食べたい物を確認し、提供する。
- 4 口腔ケアは控える。
- 5 家族が介護することを希望しても、職員で行う。



問題 60 終末期の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 苦痛の緩和は、医師に任せる。
- 2 手を握るなどのスキンシップを行う。
- 3 意識がなくなれば、声かけは控える。
- 4 死後の処置は、家族には見せない。
- 5 グリーフケア(grief care)は、看護師に任せる。